

71 ミズコハクガイ

(ヒラマキガイ科)

兵庫県ランク:A

Gyraulus soritai

環境省ランク:VU

種の概要

関東・北陸以西に広く分布しているが、各府県で知られている産地は極めて少ない。若干の湧き水のある池沼や山際の水田、休耕田、湿地などに生息し、挺水植物の茎などの水際付近や浮葉の葉裏など水面近くで生活する。殻径4mm、殻長1.5mm前後になり、殻底は緩やかに膨らんでいる。体層の膨らみは弱く、内方に傾斜し、広く深く陥没する。殻表面は鈍い光沢を有し、繊細な成長脈がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○	○		△	○	○		○

県内分布

三田市、姫路市、たつの市

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。播磨西部の数箇所と三田市で確認しているが、他府県と同様に知られている産地は極めて少なく、しかも、水田や休耕田などごく少数を確認していることから継続して確認されることもない。加えて、ここ10数年は新規産地が発見できない状況である。

保護上の留意点

湧水のある湿地や浅い池沼、休耕田において、しかも止水的な環境が生息条件となる。それが小規模であっても生息するが、規模が小さいほど人の手によって改変されやすい。谷戸地形には、こういった環境が存在しやすいので、マルタニシ(貝類Cランク)やホトケドジョウ、カスミサンショウウオなどの生物を含めての環境維持を積極的に行うことで、本種の生息も保障されると考えられる。



写真提供：増田修



【執筆者】 増田修